

令和3年8月27日

2022年「東アジア文化都市」の国内都市の決定

この度、2022年「東アジア文化都市」の国内都市を、大分県（大分県及び県内複数都市による広域参加）に決定しましたので、お知らせいたします。

（大分県同日発表）

1. 事業概要

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。

また、当該都市がその文化的特徴をいかして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

2. 開催期間

2022年の4月～12月

3. 備考

2021年に開催される日中韓文化大臣会合において、中国及び韓国から提案される都市とともに、正式に決定される予定。

《担当》文化庁文化経済・国際課国際文化交流室
室長 鈴木 律子
国際文化交流調整官 荒井 忠行
【電話】 03-6734-3110(直通)

「東アジア文化都市」の概要について

1. 事業開始年

2014年（平成26年）から日本、中国、韓国の3か国間で開始

2. これまでの選定都市

2014年：横浜市（日本）、泉州市（中国）、光州広域市（韓国）

2015年：新潟市（日本）、青島市（中国）、清州市（韓国）

2016年：奈良市（日本）、寧波市（中国）、済州特別自治道（韓国）

2017年：京都市（日本）、長沙市（中国）、大邱広域市（韓国）

2018年：金沢市（日本）、ハルビン市（中国）、釜山広域市（韓国）

2019年：豊島区（日本）、西安市（中国）、仁川広域市（韓国）

2020年：北九州市（日本）、揚州市（中国）、順천시（韓国）

2021年：北九州市（日本）、紹興市、敦煌市（中国）、順천시（韓国）

2022年：大分県（日本・国内都市）、未定（中国）、未定（韓国）

3. 選定基準

中国、韓国をはじめ東アジア諸国との文化交流、文化都市、創造都市としての施策展開の実績及び今後の計画、実施される事業の内容等を考慮して選定。

4. 事業内容

東アジア文化都市に選ばれた都市は、事業の目的を踏まえ、1年（4月～12月）を通じて、下記の内容等に係る様々な文化芸術イベントを企画・実施。

- 開会イベント・閉会イベント
- 中核期間（1か月程度）を設け、集中的に文化芸術関連事業を実施
- 日中韓の東アジア文化都市間で交流事業を実施

5. 2022年「東アジア文化都市」の国内都市大分県について

九州北部に位置する大分県は、温泉の源泉数、湧出量が、ともに日本一であり、国内外から非常に人気の高い県です。

大分県では、「別府アルゲリッチ音楽祭」など様々な文化芸術イベントが行われており、2022年は県民・市町村をはじめ、芸術文化団体とも協力して事業を行っていく予定です。